

# 制限外積載等許可申請書（制限外積載）記載例

（トレーラを使用して県外へ搬送する場合）

別記様式第四（第八条関係）

該当するものを○で囲ってください。

**制限外積載**

設備外積載許可申請書

荷台乗車

○○ 警察署長 殿

申請又は作成日 令和○年○月○日

住所 長崎市○○町○○番○号

申請者 氏名 ○○○ ○○

申請車両の運転者を記載してください。2名以上の場合は、連記し、連記できない場合は、運転者一覧表や運転者全員の運転免許証のコピーを添付して下さい。

申請者の種類	例) 大型、けん引、大特 など	免許証番号	9 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
車両の種類	例) 大型、準中型、普通、大型特殊 など	番号標に表示されている番号	長崎 1 3 0 あ 0 0 0 0 長崎 1 3 0 う 0 0 0 0	
車両の諸元	長さ 12.71 m	幅 2.49 m	高さ 3.32 m	最大積載重量 20,250 kg
運搬品名	例) コンクリート柱、建設機械、レール など			
制限を超える大きさ又は重量	長さ	幅 0.424 m	高さ 0.28 m	重量
制限を超える積載の方法	前	後 0.989 m	左 0.212 m	右 0.212 m
設備外積載の場所	荷台に乗せる人員			
運転の期間	令和○年○月○日 から令和○年○月○日 まで			
運転経路	出発地 長崎市○○町○○番○号 △△鉄鋼 長崎営業所	経由地 諫早市○○町○○番○号 □□□工業	目的地 福岡県福岡市○○町○○番○号 △△鉄鋼 株式会社	
	通行する道路	長崎市道～国道34号～高速道路～国道3号～福岡市道		

具体的な品名を記載してください。

下図の説明を参考にしてください。

不要な欄には斜線を引いてください。

1年以内の必要な期間  
＜特例＞  
高さだけが超過する申請は、交通管理上支障がなければ、添付する特殊車両通行許可証の写しにある許可期間と同一とすることができます。

具体的に記載してください。通行する道路や目的地がはっきりしていなければ申請できません。

申請者の方は記載しないでください。許可をする警察署で記載します。

第 ○ 号

制限外許可証

上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。

条件	
----	--

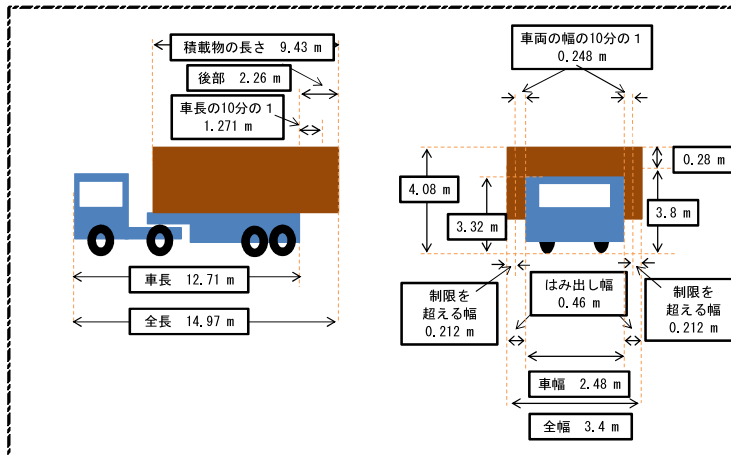
年 月 日

警察署長 印

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。



「制限を超える大きさ又は重量」、「制限を超える積載の方法」の記載方法について説明します！



【制限を超える大きさ又は重量】

- 長さ (積載物の長さ) - (車長 × 1.2) の値を記載する。
- 幅 (積載物の幅) - (車幅 × 1.2) の値を記載する。
- 高さ (積載時の高さ) - 3.8m の値を記載する。  
※ 指定道路のみを走行する場合は4.1mを減じた高さ
- 重量 原則として許可しない。

【制限を超える積載の方法】

- 前/後 (後方にはみ出る部分の長さ) - (車長 × 0.1) の値を記載する。
- 左/右 (左右にそれぞれはみ出る幅) - (車幅 × 0.1) の値を記載する。